

一般質問のゆくえ

～あれからどうなった～

議員の一般質問がどのように町政に反映されたかを追跡しました。

マイナンバーカードの普及 平成 30 年 9 月 ほか

質問

交付率が低いため、普及に向けた取り組みを。

人員の確保など、業務体制の見直しなどを図り、実施に向けて検討する。

町長

どうなった

令和 2 年 4 月から役場にて顔写真の無料撮影開始。
令和 3 年 5 月から延長窓口を 1 時間 30 分延長し、
19 時 30 分まで交付手続きを可能とした。



避難所開設訓練の実施 令和 2 年 9 月

質問

コロナ対策を踏まえた訓練が必要では。

実施に向けて防災専門員を中心に検討をしている。

町長

どうなった

令和 3 年 11 月に訓練を実施した。



生理用品の無償配布 令和 3 年 6 月

質問

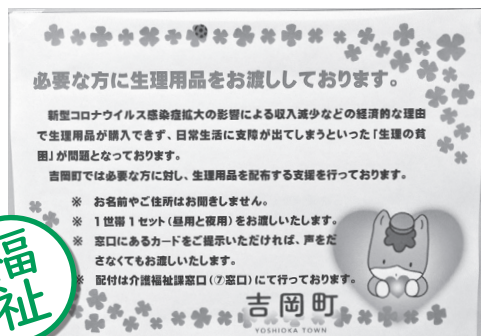
女性の貧困対策のため、生理用品を無償配布できないか。

できる限り早く進められるよう努力する。

町長

どうなった

令和 3 年 6 月から介護福祉課福祉室窓口にて無償配布。



学校の連絡先をプリントしたシールを見童へ配布 令和 3 年 12 月

質問

通学時に緊急事態があった場合に、地域の人が学校に連絡できるよう検討してみてもは。

検討を進める。

教育委員会
事務局長

どうなった

令和 4 年度に全児童へ配布した。





議会広報常任委員が、「広聴」活動として、吉岡町で活躍している「ひと」にインタビューをします。

赤ちゃんから大人まで気軽に 立ち寄れるみんなの居場所に



こ ーはる
kōharu 日和
代表

白井 静香 さん

—kōharu日和とはどのような団体ですか。

白井さん 私たちは、吉岡町で子育て中の4名で運営するボランティア団体です。こども食堂として3月に設立したばかりですが、これまでお弁当^{プラス}+フードパントリー無料配布を実施。6月8日からは15～19時の間で、みんなの居場所としてオープンしています。赤ちゃんから、大人まで気軽に立ち寄れる多世代交流の場所となるよう試行錯誤中です。夕食は予約制ですが30食限定で提供しています。

—活動の中で気を付けているところを教えてください。

白井さん 大人中心になりがちな現代ですが、私たちは子どものチカラを大切に活動しています。kōharu日和のボランティアは子どものほうが多いと言っても過言ではありません。子どもたちは私たち大人が思っている以上によく考え、行動しています。そんな子どもたちにお手伝いしてもらうのではなく、子どもたちの活動を大人たちがバックアップする。子どもを主体とした、子どもたちのチカラ食堂を目指します。

—町議会や町政に望むことはありますか。

白井さん 先日は町役場のフードドライブ活動からの食料寄付ありがとうございました。議会でも取り上げてください感謝しています。今後、より必要な人へ支援を届けるには、町との連携が必要と考えます。また、活動の幅を広げていくためにも、さまざまな面で継続的なご支援をよろしく願います。

—町民の皆さんに一言お願いします。

白井さん こども食堂というと、「子どもだけが対象?」「貧困・困窮」というイメージがあります。それは最初に設立した時のイメージが強いので仕方ありません。現在「こども食堂」の形態はさまざまです。私たちは、地域の人が気軽に立ち寄れる場所でありたいと思っています。多世代の人が利用することで、コミュニティができて問題解決にもつながると考えます。ぜひ、気軽にお立ち寄りください。



ボランティアは子どもたちのチカラも